

# 暖地における家畜ビートの栽培

——神奈川県津久井農業改良普及所の成績から——

家畜ビートは暖地においても近年注目され栽培されるようになりましたが、一般にはそれほどなじみの深いものとはいえません。寒冷地帯では年間の飼料作物栽培計画に欠かせぬ重要な役割を果たしておりますが暖地では不安で作れないという現況で弊社千葉農場は数年来、家畜ビートを栽培、飼料作物の計画に安心して取り入れる方法を研究し、北海道、東北の寒冷地帯と同様な収量を期待し得ることを実証しお奨めして参りました。津久井農業改良普及所は設立と同時にこの地帯の酪農経営、技術の改善にあらゆる困難を克服し一大酪農地帯を形成するに至りました。もちろん自給飼料の増産にも指導者と農家が一体となり押進めておりますが、ここにその一端として昨年家畜ビート各品種の栽培比較試験を行ない（試作種子弊社提供）大きな収穫を得られ、その貴重な成績を戴きましたので御紹介申し上げ、安心して家畜ビートを栽培されるよう更にお奨め申し上げます。

津久井郡は神奈川県最北端に位し、山間地帯であるため気候は錯綜し、昼夜の寒暖の差が激しく夏期日中においてはかなりの高温になることがある。また雷雨も多く

第1表 津久井郡の気象条件

月	気 温	平 均 最低気温	平 均 最高気温	降 水 量	摘 要
	°C	°C	°C	mm	
1	4~5	-4~-3	8	50~60	晩霜 4月10~15日
4	—	6~7	18	150~160	初霜 11月5日頃
6	—	—	—	160	—
7	26	20	29	—	—
8	—	—	—	290	—
10	—	11	20	250	—
年平均	15~16	8	18~19	年間 2,300	—

年間雨量は県下他地方に比べて多く、結霜期間も長く、気象条件は第一表を御参照下さい。  
家畜ビートの品種別比較は第二表の通りですが、耕種概要並びに栽培利用法等は次のように奨めております。  
1 播種期 三月下旬~四月上旬

2 播種量 条播 一・三キ以下  
点播 〇・五キ以下

3 栽培密度

(畦間) (株間)  
六〇キ×二五キ 七・〇〇〇株  
または  
七五キ×二五キ 前後

4 施肥量

(二〇ア当り)  
。基肥として(全層施肥)

石灰 一五〇キ  
厩肥 二、五〇キ以上  
礫砂 〇・五キ  
硫酸 二五~三〇キ  
過石 四〇~五〇キ  
塩加 一五~二〇キ

。追肥として

硫酸一〇キ(または牛尿)を間引後二回ぐらい施す。

5 消毒

(イ) 種子にセレンサンをまぶす。  
(ロ) 間引から梅雨期まで二~三回ダイセソ、新カッパー、ボルドー液(四斗式石灰等量式)を撒布する。

6 品種と利用

(イ) 全期 (六月下旬~八月中旬) 利用  
パレスストリーネ  
(ロ) 早期 (六月下旬~七月中旬) 利用  
ハーシュユガレッド  
(ハ) 後期 (七月下旬以降) 利用  
シュガーマンゴールド  
M・G・M (雪印改良)

7 収量と面積

(イ) 早期利用 (六月下旬~七月上旬)

第2表 品種比較試験 播種期 3月20日、播種量その他耕種概要は主文の通り

品 種	(イ) 早期収穫 (6月29日~7月3日)							(ロ) 後期収穫 (7月23日~7月25日)						
	根数	根重	順位	葉重	順位	総重量	順位	根数	根重	順位	葉重	順位	総重量	順位
M. G. M (雪印改良種)	7,500	1,580	4	3,678	3	5,258	4	7,400	4,474	3	6,364	1	10,838	1
パ レ ス	6,800	1,935	2	3,786	2	5,721	1	7,350	5,157	2	5,043	3	10,200	2
ハーシュユガレッド	7,200	1,628	3	4,042	1	5,670	2	6,100	4,228	4	5,667	2	9,895	3
ハーシュユガレッド	7,366	1,560	5	3,108	5	4,668	5	6,960	4,120	5	4,297	6	8,418	6
シュガーマンゴールド	7,200	2,030	1	3,410	4	5,440	3	6,900	5,258	1	4,565	5	9,823	4
B. G. B (雪印改良種)	6,600	1,313	6	3,104	6	4,417	6	7,900	3,911	6	4,981	4	8,892	5